

令和2年度 事業所向け放課後等デイサービス自己評価表（リカバリーきくがわ）^{1P} / 6P

令和2年9月実施

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		<ul style="list-style-type: none"> ・怪我をしないよう、ボール遊びと本を読むスペースを分けて支援している。 ・怪我対策として柱や壁の角にクッションを貼りを行った。 ・パニックを起こす児童に対し、パーティションで部屋を分ける事でケルダウの場所を確保している。
	② 職員の配置数は適切であるか	○			事業所の職員が1名増え5名となった事により、支援体制に余裕が生まれ職員の配置数は適切であると考えます。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			施設入り口の段差のある場所にスロープを設置し、車椅子で移動できるよう配慮している。しかし、トイレの便座横に手すりがない為、不安定な部分もあり、細かな配慮が不十分と考える。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・職員全員で話し合う事で目標設定を行い、一か月後に振り返りを行っている。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・保護者向けアンケートを実施し、利用における評価を確認した。 ・意見を把握し、徐々に改善実現に向け努力している。 ・保護者等に協力して頂き、改善点や要望をお聞きし今後の改善の参考にしている。 ・アンケート調査を職員にも公表し、どのように改善していくか職員全員で考えていく。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・当社ホームページで公表している。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		<ul style="list-style-type: none"> ・2018年1月に実地指導を行った。 ・外部評価を取り入れ、業務改善につなげていきたい。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・研修機会があれば参加している。市開催の講話などできる限り参加していきたい。 ・事業所内にて、毎月ミーティングを行い職員の質の向上を図っている。 ・毎月のミーティングにて、支援等で困っている事等、職員間で話し合いを行う。

令和2年度 事業所向け放課後等デイサービス自己評価表（リカバリーきくがわ）^{2P} / 6P

令和2年9月実施

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			日頃から学校や家庭と情報共有を行い、面談時に現状とニーズを照らし合わせ、利用児に対し最適と考えられる計画を作成している。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・今後とも活用していきたい。 ・絵カードを使用し支援をしている。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・毎月ミーティングを行い、その中で活動の内容を職員同士で打合せし決めている。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・以前より活動を固定せず様々な活動をローテーションで行っている。 ・季節を取り入れた活動を取り組めるよう考慮し、利用児が日頃からの遊びの中で興味のある遊びを中心に活動に取り入れている。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・休日・長期休暇は新型コロナに配慮しつつお出掛けを設定している。 ・それぞれ活動プログラムは違うが、今後は細かく設定し支援をしていく。 ・情報共有をしながら連携を図る為、課題をきめ細やかに設定し、より良い支援につなげていきたい。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・児童に対し活動への参加を促し、無理のない範囲で活動を支援している。 ・利用児の状態から活動内容等を踏まえ計画を作成している。加えて学校や行政、そして職員や保護者と連携し情報共有し、より良い支援につなげていきたい。 ・個別活動については各自遊びを選んでもらう選択遊びを通じ活、動を始めている。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・毎朝朝礼を行い必ず支援の内容や役割分担を行っている。
⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・毎日業務終了時、終礼を行い情報共有は必ず行っている。気づきや反省点などあった際には各自発言するようにしている。	

令和2年度 事業所向け放課後等デイサービス自己評価表（リカバリーきくがわ）^{3P / 6P}

令和2年9月実施

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との連絡ノート(リハビリノート)等に記載された保護者からの伝達事項を施設保有のノートにまとめ、職員全体が閲覧し理解できるようにしている。 ・支援の記録は取っているが、支援の検証や改善につなげる為、職員間で更なる情報共有が必要と考える。
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングで話し合う機会を設けているので、その時に計画書の見直しが必要かを検証し判断していきたい。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・基本活動を複数組み合わせ、更に充実した支援を行えるよう工夫していきたい。

令和2年度 事業所向け放課後等デイサービス自己評価表（リカバリーきくがわ）^{4P} / 6P

令和2年9月実施

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・サービス担当者会議には必ず児発管が参加するようにしている。 ・児発管に加え、児童指導員も参画した方が良いと考える。
	㉑ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			・送迎時間に変更がある場合や下校時間等の確認など連絡を行っている。 ・お迎え等で必ず行っている。下校時間の確認を学校や保護者に確認を行い、お迎えが遅くなってしまう時は事前に連絡を行っている。
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	・現在医療ケアが必要な児童は利用していない。 ・主治医との連絡体制が整えられていない為、今後整えていく必要がある。
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		・年度初めの挨拶と同じタイミングで情報共有出来ているが、細かな所まで出来ておりません。今後は積極的に情報共有を行い相互理解に努めたい。
	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	・卒業生は現在おりませんので、該当しません。
	㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		・必要に応じ専門機関と連携することは出来ている。その中で助言を頂くようアプローチしている。
	㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		・今年度は「子ども参観日」を通じ職員の障害のない子どもさんとの交流は出来た。しかしながら更に多くの子どもたちとの交流を実現していきたいと考える。
	㉗ （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			・開催される時は必ず参加している。今後も参加し、支援の質の向上を図りたい。
	㉘ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・送迎時や面談時に利用児の状況をお伝えし、会話の中で発達の状況や課題について情報を得る事により、支援の確認をしている。
	㉙ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		・相談があった保護者に対しては行っている。今後も全利用児の保護者のサポートができるよう対応していきたい。

令和2年度 事業所向け放課後等デイサービス自己評価表（リカバリーきくがわ）^{5P} / 6P

令和2年9月実施

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	⑩ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・必要に応じお便りをお渡しすると共に、説明を行っている。
	⑪ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者からの悩み等の相談を真摯にお聞きし助言をするよう配慮している。加えて毎日の学校での児童引き渡しの際、必ず学校での様子をお聞きし、支援にあたっている。
	⑫ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	・父母の会の活動が出来ていないが、必要に応じて保護者同士の連携を支援している。
	⑬ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・苦情があった際その日のうちに職員全員が情報を共有し、施設長を中心に事実関係を調査し、対処する体制としている。
	⑭ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			○	・現状発信することができていない。今後は積極的に発信できるようにしていきたい。
	⑮ 個人情報に十分注意しているか	○			・個人情報が記載されている用紙は必ず裁断し廃棄している。 ・利用者向けの請求書など、金額が記載されているものは、外部から金額が見えないよう配慮している。
	⑯ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・保護者に対し常に意思の疎通や情報伝達の配慮はしている。また、必要に応じ付箋紙等に要件を記入し渡している。
⑰ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	・現状招待することはできていないが、今後招待する機会を設けていきたいと考える。	

令和2年度 事業所向け放課後等デイサービス自己評価表（リカバリーきくがわ）^{6P} / 6P

令和2年9月実施

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
非常時等の対応	③⑧ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			・保護者に対し避難場所は、面談時に説明を行っている。職員間への周知も実施済である。
	③⑨ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・活動の合間に避難訓練を行っているが、職員間で話し合いのもと、質の向上を図ってきたい。 ・救出訓練は行っていないので、今後行った方が良いと考える。
	④⑩ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・研修に参加し学んだ内容を、参加していない職員と情報共有し、虐待防止に向け取り組んでいきたい。 ・まだ全員が研修に参加できていないので、今後順次参加していく必要がある。
	④⑪ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			・保護者に必要となる場面において拘束実施の許可を得ている。また支援計画書に記載している。
	④⑫ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			保護者保有の医師の診断書の北°-を頂き保管し、職員間で情報共有している
	④⑬ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・積極的に取り入れて支援の質の向上を図りたい。 ・毎月行うミーティングなどでやりとりした場面を挙げてもらい、まとめるなどした方が良いと考える。